



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テクノスマート
 コード番号 6246 URL <http://www.technosmart.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高橋 進
 (氏名) 柳井 正巳
 配当支払開始予定日

TEL 06-6253-7200
 平成26年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,574	33.9	320	△29.1	346	△26.0	214	△23.4
26年3月期第2四半期	4,164	△15.9	452	702.5	468	552.2	280	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.26	—
26年3月期第2四半期	26.46	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	16,255		10,107		62.2	953.89
26年3月期	16,038		9,894		61.7	933.79

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 10,107百万円 26年3月期 9,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	10.00	14.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 6円00銭

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	0.1	450	△63.4	480	△61.9	300	△58.3	28.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 通期業績予想の修正については、本日(平成26年11月7日)公表いたしました「平成27年3月期第2四半期(累計)業績予想との差異及び平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	10,821,720 株	26年3月期	10,821,720 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	225,708 株	26年3月期	225,309 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	10,596,345 株	26年3月期2Q	10,596,860 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
品目別売上高、受注高、受注残高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①経済情勢および業界の状況

当第2四半期における経済情勢は、米国では企業業績の回復、雇用環境および個人消費に改善が見られたものの、一方欧州では景気の停滞が見られ、また中国経済の成長鈍化が韓国や台湾経済にも影響して伸び悩みの傾向が見られました。国内については、雇用情勢が改善され、引き続き景気の緩やかな回復基調で推移いたしましたが、消費増税の影響で個人消費が低迷し、当社の環境としては、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下において、スマートフォン、タブレット端末用として光学フィルム、タッチパネル用塗工装置、医療材用塗工乾燥装置、自動車用リチウムイオン二次電池関連および電子部品関連塗工乾燥装置が売上に寄与しました。また、今後の製品開発のためのテスト機であるスマートラボやパイロットコーターの引合も増加し、今後は、光学フィルム関連と二次電池を始めとするエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組みたいと考えております。

②売上および損益の状況

売上高は、5,574百万円(前年同期比33.9%増)となりました。主な最終製品別売上高構成比率は、薄型表示部品関連機器が75.8%(前年同期は59.7%)、機能性紙・フィルム関連塗工機器が9.2%(前年同期は12.5%)、電子部品関連塗工機器が3.1%(前年同期は11.0%)、エネルギー関連機器が5.2%(前年同期は2.5%)となりました。売上高に占める輸出の割合は、36.7%(前年同期は54.6%)となりました。売上総利益は、620百万円(前年同期比23.7%減)、売上総利益率は、11.1%(前年同期は19.5%)となりました。販売費及び一般管理費は、300百万円(前年同期比16.9%減)となりました。営業利益は、320百万円(前年同期比29.1%減)、経常利益は、346百万円(前年同期比26.0%減)、四半期純利益が214百万円(前年同期比23.4%減)となりました。

③受注の状況

受注高は、3,147百万円(前年同期比41.6%減)、その内輸出受注高は、161百万円(前年同期比88.3%減)となりました。受注残高は3,775百万円(前年同期比38.6%減)、その内輸出受注残高は、616百万円(前年同期比78.1%減)となりました。

個別の受注については、光学系フィルム用大型試験装置、特殊用途粘着剤塗工乾燥装置ならびに二次電池用塗工乾燥装置などを受注しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

総資産は、16,255百万円(前期末比1.4%増)となりました。これは主に売上債権の増加によるものです。負債は、6,147百万円(前期末比0.1%増)となりました。これは主に仕入債務の増加によるものです。純資産は、10,107百万円(前期末比2.1%増)となりました。自己資本比率は、62.2%(前期末は61.7%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前第2四半期累計期間に比べ225百万円減少し、4,213百万円（前年同期は4,439百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、761百万円（前年同期は得られた資金359百万円）となりました。これは主に法人税等の支払によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、12百万円（前年同期は使用した資金39百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、280百万円（前年同期は得られた資金112百万円）となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月9日に公表した通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成26年11月7日）別途公表いたしました「平成27年3月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しており、当社の販売する機器等は受注生産のため実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の期首の退職給付引当金が51百万円、繰延税金資産が18百万円それぞれ減少し、利益剰余金が32百万円増加しております。なお、四半期損益計算書に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,364,986	4,313,084
受取手形及び売掛金	6,009,791	7,182,267
仕掛品	127,064	213,942
原材料及び貯蔵品	53,939	43,493
その他	115,471	126,815
流動資産合計	11,671,254	11,879,603
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	861,024	840,333
機械及び装置（純額）	276,242	267,582
土地	1,836,830	1,836,830
その他（純額）	85,633	76,613
有形固定資産合計	3,059,731	3,021,359
無形固定資産	8,737	7,679
投資その他の資産		
投資有価証券	1,079,505	1,150,712
その他	221,455	198,057
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	1,298,660	1,346,469
固定資産合計	4,367,128	4,375,509
資産合計	16,038,382	16,255,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,138,857	3,931,463
短期借入金	540,803	483,508
未払法人税等	449,048	135,171
前受金	329,880	133,821
引当金	114,677	123,931
その他	198,065	175,262
流動負債合計	4,771,331	4,983,158
固定負債		
長期借入金	238,561	121,807
退職給付引当金	538,483	453,531
資産除去債務	8,898	8,898
その他	586,320	580,320
固定負債合計	1,372,263	1,164,556
負債合計	6,143,594	6,147,715

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,125	1,003,125
資本剰余金	515,858	515,858
利益剰余金	7,207,009	7,348,577
自己株式	△108,697	△108,883
株主資本合計	8,617,296	8,758,677
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	252,758	323,986
土地再評価差額金	1,024,733	1,024,733
評価・換算差額等合計	1,277,491	1,348,719
純資産合計	9,894,788	10,107,397
負債純資産合計	16,038,382	16,255,112

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	4,164,106	5,574,691
売上原価	3,350,772	4,953,755
売上総利益	813,334	620,936
販売費及び一般管理費	361,298	300,346
営業利益	452,035	320,589
営業外収益		
受取利息	830	940
受取配当金	12,992	14,940
受取賃貸料	4,911	7,820
その他	3,942	8,473
営業外収益合計	22,677	32,175
営業外費用		
支払利息	5,024	3,130
売上割引	40	2,079
その他	1,530	1,343
営業外費用合計	6,595	6,553
経常利益	468,118	346,211
税引前四半期純利益	468,118	346,211
法人税等	187,700	131,532
四半期純利益	280,418	214,679

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	468,118	346,211
減価償却費	63,805	57,444
受取利息及び受取配当金	△13,823	△15,881
支払利息	5,024	3,130
売上債権の増減額（△は増加）	10,117	△1,172,476
たな卸資産の増減額（△は増加）	△26,974	△76,431
仕入債務の増減額（△は減少）	△312,371	787,595
前受金の増減額（△は減少）	227,051	△196,058
その他	103,439	△66,158
小計	524,387	△332,624
利息及び配当金の受取額	13,823	15,881
利息の支払額	△5,024	△3,130
法人税等の支払額	△173,314	△441,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,871	△761,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,450	△16,778
有形固定資産の売却による収入	-	30
投資有価証券の取得による支出	△14,771	△617
その他	△6,146	4,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,367	△12,526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	△244,861	△174,049
自己株式の取得による支出	△122	△186
配当金の支払額	△42,868	△105,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	112,148	△280,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2,421
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	432,652	△1,051,902
現金及び現金同等物の期首残高	4,006,424	5,264,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,439,076	4,213,084

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高、受注高、受注残高

（単位：千円、％）

品目		前第2四半期 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日		当第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日		(参考) 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売 上 高	塗工機械	3,636,277	87.3	4,860,187	87.2	8,965,681	89.7
	化工機械	426,194	10.2	633,026	11.4	830,183	8.3
	その他	101,633	2.5	81,477	1.4	199,126	2.0
	計	4,164,106	100.0	5,574,691	100.0	9,994,992	100.0
	内輸出高	2,273,028	54.6	2,046,903	36.7	4,581,089	45.8
受 注 高	塗工機械	4,330,806	80.3	2,962,541	94.1	9,724,458	86.3
	化工機械	963,368	17.9	99,781	3.2	1,353,992	12.0
	その他	98,421	1.8	85,178	2.7	196,011	1.7
	計	5,392,596	100.0	3,147,500	100.0	11,274,462	100.0
	内輸出高	1,373,027	25.5	161,311	5.1	3,362,865	29.8
受 注 残 高	塗工機械	5,299,208	86.1	3,465,810	91.8	5,363,456	86.5
	化工機械	835,059	13.6	288,449	7.6	821,694	13.2
	その他	17,665	0.3	21,462	0.6	17,762	0.3
	計	6,151,933	100.0	3,775,723	100.0	6,202,913	100.0
	内輸出高	2,820,089	45.8	616,274	16.3	2,501,866	40.3